授業科目名 <英訳>	スラブ語学スラブ文学(講読) Slavic Languages and Literatures (Seminars)	担当者所属・職名・氏名	人文科学研究所 准教授　伊藤　順二

配当学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2018・後期	曜時限	火3	授業形態	講読	使用言語	日本語

題目	露書講読２

[授業の概要・目的]

19世紀の評論の読解を通じて、ロシア語の一般的能力、および特に評論的・論文的な文章の読解力を向上させる。

[到達目標]

19世紀のロシア語の文章を、辞書等を参照しつつ自力で読解できる。

[授業計画と内容]

前期に引き続き、以下をテクストとする予定である。

Александр Иванович Герцен, Старый мир и Россия. (1854)

ただし、前期不受講者にも不都合のないよう、前半の要約を初回講義時に配布する。
また、受講者の希望によってテクストを変更する可能性もある。

第1回：イントロダクション
第2回～第15回：講読(日本語訳、文法的説明、背景説明)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

期末テストはおこなわない。
毎回の講読における平常点（予習の精度）によって評価する。

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
露和辞典は研究社出版のものを所持していることが望ましい。

[授業外学習（予習・復習）等]

予習として自分でテクストを訳しておくことが必須となる。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーは、火曜４限とする。

※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。